

## ■著者紹介（西日本新聞社会部担当記者）

### 田川 大介（たがわ・だいすけ）

1965年生。福岡県福岡市出身。西南学院大学文学部卒。1989年入社。社会部、長崎総局、東京支社報道部、専任職編集委員（医療担当）などを経て報道センター次長。編著に『医療崩壊を超えて——地域の挑戦を追う』（ミネルヴァ書房）。

### 相本 康一（あいもと・こういち）

1970年生。山口県下関市出身。立命館大学法学部卒。1993年入社。長崎総局、社会部、東京支社報道部、社会部次長を経て国際部次長。事件事故・司法、首相官邸、原発問題などを取材。2014年夏から中国総局長（北京）。

### 久保田かおり（くぼた・かおり）

1978年生。大阪府堺市出身。神戸大学大学院国際協力研究科修了。2003年入社。熊本総局、社会部などを経て東京支社報道部記者。事件事故・司法取材が長く、現在は原子力規制委員会を担当。

### 一瀬 圭司（いちのせ・けいじ）

1978年生。福岡県広川町出身。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。2004年入社。筑豊総局、大分・宇佐支局長などを経て社会部記者。現在は司法・事件事故を担当。

### 宮崎 拓朗（みやざき・たくろう）

1980年生。福岡県福岡市出身。京都大学総合人間学部卒。2005年入社。長崎総局を経て社会部記者。事件事故・司法、医療問題などを取材。14年夏から東京支社報道部記者。